

# 日本社会学理論学会

## 第 12 回大会 プログラム

日 時：2017年9月2日（土）・3日（日）

会 場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 10階

（〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1）

9月2日（土）				
11：00～	理事会	1101 教室	会員控室 1104 教室	事務局・開催校控室 1102 教室
12：30～	受付開始			
13：00～15：00	一般報告①	1103 教室		
	一般報告②	1106 教室		
15：20～17：40	日韓特別セッション	1103 教室		
18：00～20：00	懇親会			
9月3日（日）				
9：30～	受付開始		会員控室 1104 教室	事務局・開催校控室 1102 教室
10：00～12：30	一般報告③	1103 教室		
	一般報告④	1106 教室		
12：00～13：00	シンポジウム打合せ	1101 教室		
13：00～14：00	総会	1103 教室		
14：00～16：30	シンポジウム	1103 教室		

—— 9月2日(土) ——

- 11:00 理事会 D号館 D316 教室
- 12:30 受付開始 D号館 3階廊下
- 13:00 - 15:00 一般報告 1 司会 宮本真也(明治大学) 1103 教室
  1. 小田 和正(北海道大学)  
「社会学理論としての時代診断学——K. マンハイムの評価的イデオロギー概念の検討から」
  2. 馬渡 玲欧(東京大学)  
「自己実現と承認、そして遊び——H.マルクーゼと A.ホネットにおける労働論の比較」
  3. 額賀 京介(一橋大学)  
「マルクーゼによるフロイト精神分析学の革命的ユートピア論への転化——E・フロムのフランクフルト学派離脱問題②」
  4. 魚住知広(東京大学)  
「孤独と依存の社会理論——エーリッヒ・フロムの権威主義的性格について」
- 13:00 - 15:00 一般報告 2 司会 浅野智彦(東京学芸大学) 1106 教室
  1. 檜田 美雄(神戸市看護大学)  
「ユーザー・イノベーションの実践としての在宅療養から社会学研究の未来を考える」
  2. 萩原 優騎(東京海洋大学)  
「レジリエンスの諸問題を社会学理論が扱うことの意義」
  3. 片上 平二郎(立教大学)  
「コンビニの社会理論序説——日本的モダニティと単身者の社会」
  4. 石川 洋行(東京大学)  
「モース贈与論のコミュニケーション論的再検討」
- 15:20 - 17:40 日韓特別セッション 司会 浅野智彦(東京学芸大学) 1103 教室
  1. Kim, Hwan-Suk (Kookmin University)  
*STS as a challenge to the social: focusing on the question of nonhuman agency*
  2. Kim, Bong Seok (Sung Kyun Kwan University) & Oh, Dok Lip (Graduate School, Waseda University)  
*Individuals Still Need Society: The Case of 'Hon-Bap' and 'Hon-Sool' in Korea*
  3. Naoki SATO (Shizuoka University)  
*Recognition theory for Social movement research: Examination of Axel Honneth's Recognition theory on Dialogue*
  4. Kiyomitsu YUI (Kobe University)  
*Civil Movements and Sociological Theory: Sakuta, Maruyama and Beck*
- 18:00 - 20:00 懇親会

—— 9月3日(日) ——

- 9:30 受付開始
  
- 10:00 - 12:30 一般報告 3 司会 岡崎宏樹(神戸学院大学) 1103 教室
  1. 小林 佑太(北海道大学)・清水 雄也(一橋大学)  
「然るべき因果という難問——適合的因果理論の意義と課題」
  2. 清家 久美(立命館アジア太平洋大学)  
「実証主義論争に関する新実在論の視点による一提案」
  3. 吉村 孝之介(名古屋市立大学)  
「P.ブルデューにおける主観主義と客観主義の乗り越え——エピステモロジーとしてのブルデュー」
  4. 秋本 光陽(筑波大学)  
「ハワード・ベッカー「アンダードッグの社会学」再考」
  5. 國本 哲史(一橋大学)  
「社会学的価値論の検討」
  
- 10:00 - 12:30 一般報告 4 司会 濱西栄司(ノートルダム清心女子大学) 1106 教室
  1. 大貫 恵佳(駒沢女子大学)  
「「統治」概念再考——G. アガンベンによる系譜学的研究を手掛かりに」
  2. 長野 慎一(東京理科大学)  
「バトラーにおける語る身体と物の世界——いかに民主主義を実践するか」
  3. 大貫 拳学(佛教大学)  
「後期近代における「政治的身体」——ジュディス・バトラーの権力論的読解」
  4. 谷 公太(慶應義塾大学)  
「アンリ・ルフェーヴルにおける都市と社会」
  5. 田中 裕(早稲田大学)  
「ドイツ社会学における空間概念」
  
- 12:00 - 13:00 シンポジウム打ち合わせ 1101 教室
  
- 13:10 - 14:00 総会 1103 教室
  
- 14:00 - 16:30 シンポジウム 司会 数土 直紀(学習院大学) 1103 教室  
テーマ「自由(主義)の可能性、もしくはその限界」
  1. 大澤 真幸(社会学者)  
「資本主義は自由の友か敵か」
  2. 大屋 雄裕(慶應義塾大学)  
「自由と幸福の現在：ナッジとその先にあるもの」
  3. 金野 美奈子(東京女子大学)  
「自由という絶望と希望——規範的社会理論に何ができるか」

討論者：小山 裕(東洋大学)